

平成30年度 磐田市立向笠小学校 学校評価書

保：保護者 教：教師 子：子ども 地：地域の皆様

重点	目標・取組	対象	評価指標（設問）	平成29年度			平成30年度			○考察 ※改善	学校関係者評価 学校協議会委員から
				中間	年度末	評価	中間	年度末	評価		
学校経営	☆生命(いのち)が大切にされる	保	本校が目指そうとしている教育内容を知っている。	95	91	A	90	92	A	○学校教育目標「瞳輝く子」を目指し、どの子どもも学校が楽しいと感じられるように、個々の思いを聞き取り、学級経営に反映させた。 ○保護者が学校の目指す教育内容を理解し、教育に高い関心をもっている。	○「6年生ありがとうの会」を参観する中で、子どもたちがみんなに分かる言葉で堂々と発表している姿が見られた。思いを伝えたいという気持ちが表れていて、とてもよいことだと思う。
	☆やさしい気持ちがあふれる	教	校長の経営方針に沿った指導を進めている。	100	100	A	100	100	A		
	☆正しく豊かな言葉があふれる	子	学校が楽しく満足している。	92	95	A	93	94	A		
		保	今年度の教育活動に満足している。	97	91	A	97	95	A		
		教	今年度の教育活動に満足している。	100	100	A	100	100	A		
かかわり合って学び、力を付けよう	① 基本的学習習慣の定着	子	授業の内容がよく分かる。	96	96	A	92	92	A	○教師の個に応じたきめ細かな指導によって、基礎的・基本的な知識・技能が定着してきている。 ※児童が自ら課題意識をもって学習に取り組み、ともに学びを深め、学ぶ喜びを実感できるような授業を実践していく。校内研修でも、子どもたちにとって魅力ある課題作りについて研修したり、友達の考えを傾聴しながら思考ツール等を使って対話の内容を焦点化する学習を設定したりしていくことを研究の視点にして取り組む。また、参観会等でも積極的に公開していく。	○子どもたちが進んで調べたり学んだりすることに課題があるということは、地域性も関係あるのかもわからない。学びに対する強い思いや「分かりたい」という意欲を高める手立てを講じたい。
	② 付けた力を明確にした授	保	お子さんは、授業の内容が分かりやすいと言っている。	92	92	A	91	88	B		
	③ 言語活動の充実	教	子どもたちは、学習内容を理解している。	73	89	B	81	75	B		
	④ 外国語活動の充実	子	進んで先生に聞いたり、自分で調べたりして学習している。	93	89	A	89	88	B		
	⑤ 個に応じた支援	保	お子さんは、進んで教師に聞いたり、自分で調べたりして学習している。	76	77	B	79	72	B		
		教	子どもたちは、進んで教師に聞いたり、自分で調べたりして学習している。	73	89	B	69	58	C		
		子	先生は、自分のことを理解して教えてくれる。	94	93	A	95	96	A		
		保	教師は、きめ細かな指導にあたっている	98	97	A	98	98	A		
		教	個に応じたきめ細かな指導をしている。	100	100	A	100	100	A		
		地	教師は、きめ細かな指導にあたっている。	100	100	A	100	100	A		
やさしさ、思いやりの気持ちを大切にしよう	① 子ども理解の充実	子	あいさつや返事がよくできている。	95	97	A	94	97	A	○友達を思いやる心や、目標に向かって頑張る気持ちが育っている。 ※自分や友達のかがやきを見付け、自己肯定感や自己有用感を高めるために、かがやきノート・かがやきカード等をさらに活用していく。保護者や地域の方にも、引き続き記入をお願いする。また、教職員が、全校児童に寄り添うよう努める。さらに、人との関わりを大切にしている行いを認め、全体で紹介する機会を作る。 ※年3回のあいさつ週間を設定し、学校全体であいさつ指導を行っていく。学府「あいさつの日」に、中学生や地域の方ともあいさつの輪を広げていく。また、委員会が主体となってあいさつがよくできている児童を称揚したり、「ふわふわ言葉の木」を掲示したりしていく。	○中学生が、学府「あいさつの日」に小学校へ来てあいさつ運動をしているので、日頃から小学生が自然に中学生とあいさつしている姿が見られる。また、地域で子どもたちにあったとき、高学年の子も照れずに気持ちのいいあいさつをしてくれよう。向笠という土壌が安定しているからだと感じる。
	② 異学年交流の充実	保	お子さんは、あいさつや返事がよくできている	84	91	A	94	92	A		
	③ 道徳の充実	教	子どもたちは、あいさつや返事がよくできている。	63	82	B	87	75	B		
	④ かがやきコーナーの充実	地	子どもたちは、あいさつや返事がよくできている。	95	95	B	100	100	A		
	⑤ あいさつ運動の推進	子	思いやりの心をもったふれあいができている。	99	98	A	93	96	A		
		保	お子さんは、思いやりの心をもったふれあいができている。	95	96	A	96	97	A		
		教	子どもたちは、思いやりの心をもったふれあいができている。	100	100	A	93	100	A		
		子	めあてをもって毎日の生活をがんばった。	95	93	A	93	94	A		
		保	お子さんは、めあてをもって毎日の生活をがんばっている。	92	94	A	94	95	A		
		教	子どもたちは、めあてをもって毎日の生活をがんばっている。	93	100	A	100	100	A		
健康な身体をつくらう	① 体力の向上	子	遊びや運動を通して体を鍛えている	95	93	A	91	92	A	○さんさんタイムに持久走月間、投力向上週間等を設定し、学校体制で手立てを講じたことにより、運動への意識づけや、体力の向上が図られている。 ※がんばりカードや校内掲示により目標を可視化できるようにする。家庭でも縄跳びや体力づくりを奨励していく。 ・生活リズムについては、数値が低い。 ※学府で「早く寝よう週間」や「ノーマディアデー」を定期的に設定したり、懇談会で結果を報告したりして、保護者と協力して意識の高揚を図る。	○いじめや虐待のニュースがよく報道される。いろいろな方（スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー）と連携しながら、共通の認識をもって取り組んでほしい。 ○生活リズムは、保護者にとっても大きな課題である。学校生活が基本であるので、子どもの体力面を考えながら、生活リズムを大切にしていきたい。
	② 保健指導の充実	保	お子さんは、遊びや運動を通して体を鍛えている。	86	83	B	84	86	B		
	③ 食育の推進	教	子どもたちは、遊びや運動を通して体を鍛えている。	100	100	A	100	100	A		
	④ 安全教育の推進	子	早寝・早起き・朝ごはんに気をつけている。	90	93	A	92	94	A		
		保	お子さんは、家庭での生活リズムを大切にしている	82	77	B	80	80	B		
		教	子どもたちは、家庭での生活リズムを大切にしている。	85	95	A	73	75	B		
		子	学級（学校）には、互いにルールを守り協力する雰囲気がある。	95	95	A	93	95	A		
		保	学級（学校）には、互いにルールを守り協力する雰囲気がある。	94	95	A	96	97	A		
		教	学級（学校）には、互いにルールを守り協力する雰囲気がある。	100	89	A	100	100	A		
		子	学級（学校）には、互いにルールを守り協力する雰囲気がある。	95	95	A	93	95	A		

子どもの自己肯定感や自己有用感を高める「かがやきカード」「かがやきノート」などの実践を始めとして、本校の学校経営目標である「人間尊重の教育を基本とし、一人一人が自らの価値を高め合う学校」に向けた取組を評価していただいた。一方で、生活リズムなど基本的な生活習慣や、事故のない安心・安全な学校に向けて十分に気を配ること等、要望や助言をいただいた。「安全な学校」、「安心感がある学校」づくりに力を入れるとともに、子どもたちの未来を見据え、子どもたちに付けたい資質・能力を見極め、保護者や地域の方との連携をさらに深めながら、質の高い教育活動を推進していきたい。